

## 国有林材の安定供給システム販売の取組について ～26年度 前期公募 結果の公表～

### 1 安定供給システム販売の取組

九州森林管理局では、木材の需要・販路の・拡大を図り、併せて地域における安定供給体制の整備や、原木の加工・流通の合理化等に資することを目的として、間伐材等を有効に活用する安定供給システム販売に取り組んでいます。今回も民有林における森林共同施業団地の設定や施業の集約化の取り組みの推進、木質バイオマス等への利用拡大等に資するため、民有林と連携しロットをまとめた安定供給システム販売に取り組むこととしています。

このような中で、平成26年度の前期企画提案の公募の結果がまとまりましたので次のとおり公表します。

### 2 26年度 前期公募の結果

#### (1) 公募量と応募量

- ① スギ材の公募量（国有林 89,290m<sup>3</sup> 民有林 2,300m<sup>3</sup>）  
一般材（原則直材採材、国有林 2,400m<sup>3</sup>）  
直・曲がりセット材（曲がり材を3割程度含む採材、国有林 67,340m<sup>3</sup> 民有林 650m<sup>3</sup>）  
直・曲がり込み材（曲がり材を7割程度含む採材、国有林 17,950m<sup>3</sup> 民有林 1,650m<sup>3</sup>）  
曲がり材（曲がり材、国有林 1,600 m<sup>3</sup>）
- ② ヒノキ材の公募量（国有林 21,700m<sup>3</sup> 民有林 250m<sup>3</sup>）  
直・曲がりセット材（曲がり材を3割程度含む採材、国有林 18,500m<sup>3</sup> 民有林 250m<sup>3</sup>）  
2m材（18cm上、国有林 1,560m<sup>3</sup>）  
小径木（8cm~12cm、国有林 1,640m<sup>3</sup>）
- ③ C材（国有林 32,730m<sup>3</sup> 民有林 250m<sup>3</sup>）
- ④ 公募量は合計で、国有林 143,720m<sup>3</sup>、これに対して応募量は 404,900m<sup>3</sup>  
民有林 2,800m<sup>3</sup>、これに対して応募量は 2,800m<sup>3</sup>

#### (2) 審査の結果

別添の一覧表の企画提案を採用することとし、3月31日に協定を締結。  
今回採用した主な企画内容は、以下のとおり。

- ① 需要者のニーズに応じたスギ・ヒノキの一般材や曲がり材等を供給
- ② 2×4住宅部材用材としてスギ材の供給
- ③ 合板・集成材用等としてB材を供給
- ④ 製紙用パルプ用資材等の既存の需要を勘案しつつ、木質バイオマス発電用燃料としてC材を供給
- ⑤ 森林認証材（SGEC材）として付加価値を高めた供給
- ⑥ 民有林からの安定供給システムへの参加者は、7者で2,800m<sup>3</sup>を供給  
等が特徴。

原木の安定供給を前提に、専門性の高い製材業者が複数協同して購入するタイプや木材市場と製材業者が連携するタイプ等多様な流通ルートが形成されているとともに、国有林からの間伐材には間伐材証明を、木質バイオマス発電用燃料資材には、発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明を付することとしており、間伐材の付加価値向上に資するものと期待されます。

なお、国有林材については、東日本大震災に対する復興用資材として、緊急的な供給要請があった場合は優先的に供給することとしています。

#### 【お問い合わせ先】

九州森林管理局 森林整備部  
資源活用課 古閑、杉中  
TEL 096-328-3672